

土砂災害警戒区域等を知る

高 知県から令和3年1月19日に香南市に土砂災害警戒区域等が指定され、香南市全域としては「土砂災害警戒区域」568カ所、「土砂災害特別警戒区域」553カ所となりました。今月号では土砂災害警戒区域等について説明します。



！ 土砂災害警戒区域等とは

土砂災害防止法に基づき居住者等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、県が指定します。

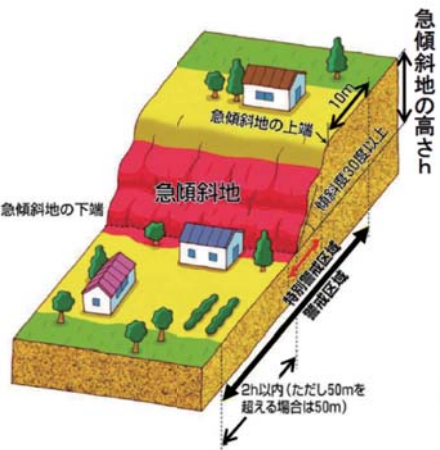
■ 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に居住者等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあり、警戒避難体制を特に整備すべき区域です。

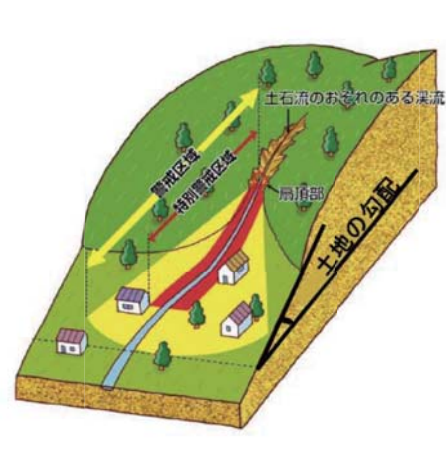
■ 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、居住者等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあり、一定の開発行為の制限および建築物の構造の規制をすべき区域です。

● 急傾斜地の場合



● 土石流の場合

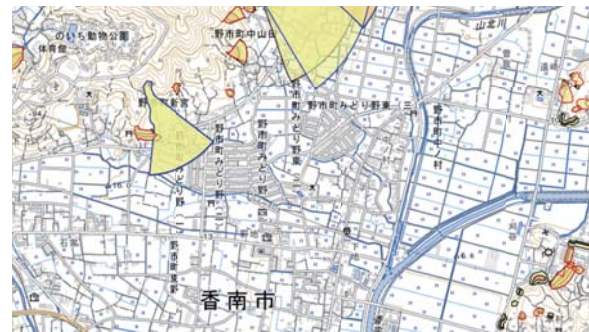


● 地滑りの場合



！ 高知県土砂災害危険箇所マップ

高知県が指定している「土砂災害警戒区域等」は、高知県のホームページの電子地図にて確認できます。また、香南市ホームページにもリンクを掲載しているので、日ごろから確認して、避難について考えておきましょう！



▲香南市の電子地図の一例

■防災対策課 ☎57-8501

防災のススメ

「もしも」に備えを！



用語のおさらい

- 【性自認】…自身の性をどう認識するか
- 【性的指向】…好きになる性

先月号の「LGBTって？」に続き…

性の多様性を考える

第2弾

人権課 ☎57-8507 FAX 56-0576

じんけん 通信

性自認や好きになる性は、本人の意思で変えられるものではありません。異性愛の人が急に同性を好きになることはできませんし、「今日から異性になろう」と思ってなれるものでもありません。自分だったら…と想像してみると、わかりやすいかもしれません。

だれもが自分らしく生きることができるよう、知る・気づくことが大事です

性的マイノリティは特別なものと思っていないか？

*性的マイノリティ…性自認と身体の性が異なる人 or 異性愛者でない人 or その両方

性自認と身体の性は一致して当たり前？

異性愛が普通？

性のあり方はもっと多様なものです

NO!

例えば…

【性自認について】
男性・女性だけでなく

- 男性と女性の間
- どちらでもある
- どちらでもない
- わからない など

【性的指向について】
異性・同性だけでなく

- 異性・同性どちらも
- 性別に関係なく など

同性愛や性自認と身体の性の不一致は過去に病気や障害とされていた時期がありましたが、現在では病気でも障害でもないと世界的に認識されています。

自分の周りにはいない、会ったことはないと思っていないか？

2019年に実施された20～69歳を対象とした実態調査では…
8割以上の人が「自分の周囲には性的マイノリティはいない」と回答しています。

しかし、同じ調査で **約10人に1人** が性的マイノリティであると回答しています。

■LGBT総合研究所「LGBT意識行動調査2019」より引用

こういった調査からも **いないのではなく見えていない、見えづらい**ということがわかります。異質で特別なものという「思い込み」が差別や偏見となり、その中で生きづらさを感じて、隠している・公表していない人が多いのが現実です。左利きの人や血液型がAB型の人がいっても自然なように、どんな性のあり方も自然なものです。